

太鼓や音楽でつなぐ笑顔の輪

～体も心もたくましく～

やってみたい！！挑戦したい！！の一人ひとりの好奇心を全力応援！！
子ども達の声にとことん耳を傾け、
子ども達発信の新たな気づきを大切に心の根っこを育てていきます



社会福祉法人 北信福社会
ほくしん保育園・あづまこども園

やってみたい！の種をまき

サークルタイムで意見交換



聴く力・考える力が
育まれる



自分達で「どうするか」を考える力
大人が下準備するのではなく
子ども達で主体的に動く



自分達で考え出来た!という
経験が、次の新しい挑戦への
原動力となる



友達との意見交換、多角的な視点
を持ち、話し合いの中で折り合いをつ
けていくコミュニケーション力を培う

子ども達が生み出す伝承の形



憧れの気持ち

年長児が真剣に太鼓を叩く姿、
音の響き、一生懸命に練習する姿勢

教えることで育つ年長児の自覚

年下児の友達へ「見せる」「教える」
という役割を自ら担う
この誇らしげな姿

教則本や指導案ではなく、「あんなふうになりたい」という感情が、次年度「ぼくたちもやってみよう！」というエネルギーの源となる

伝統を築く

自分達の音で、みんなのステージへ

「どうだろう？」から始まった生活発表会への道のり

大きい音が
良いよね

どの太鼓が
良い？



みんなで演奏
したい

他の楽器も
使ってみたいな

この音、電車の
音に聞こえる？

太鼓への興味から発展し、子ども達は「身近な物で音を作る」
タンバリンを置く物や場所で音が変わることに気がつき、
どうすると電車の音に聞こえるか探っていく



0からうみだしていく
まさに音の研究者!!



世代・地域・ベトナム等、竹を通して心がつながる

地域の方に協力して頂き
オリジナルの楽器
“ギロ”を製作

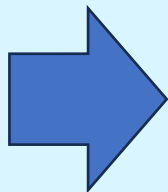


運動会で披露することで、子ども達の
達成感や感謝の気持ち、笑顔につながる



ベトナム交流で広がる竹の玩具
軽快なリズムに合わせて、竹の棒を跳び越える「バンブーダンス」を
ベトナムの方と一緒に楽しみ、
様々な遊びがあることを知り、探究心が広がる

未知の世界への一歩



子ども達の一生懸命演奏する姿は、地域の方々の
心に響き、子ども達は触れ合いの中で優しさや
ぬくもりを感じ、思いやりの心が育まれる

成果

心を通わせ、世代・世界をつなぐ太鼓 「生きる力」と「絆」

子ども達一人ひとりがもつ輝きを何よりも大切に、子ども達の心を丸ごと受け止め「とことん一緒に楽しむ」ことで、「やってみたい」気持ちや粘り強い心が培われた。



◎太鼓演奏を通して、子ども達は仲間と音を合わせる経験から子ども達は自信につながり、自分達で挑戦しようとする意欲を、私達はこれからも応援していきたいと思います。



太鼓の音色は、人との『縁』に自然とつながり、「心が伝わる感動の輪」になりました。この地域で育つ子ども達の未来に、「人とつながり自分を愛し、社会の中で力強く生きていく為の土台」となり大人になった時、心を支える温かいぬくもりの力となつてつながっていくと信じています。